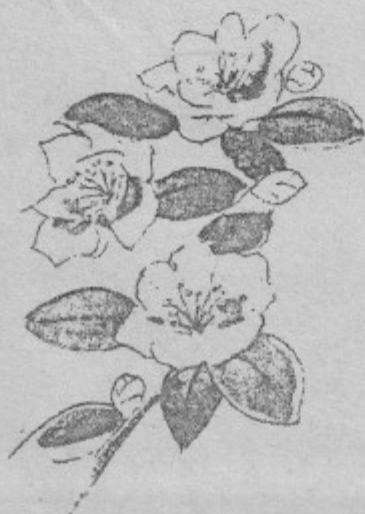


JARL

香川クラブ報

№ 203 昭和57年12月15日



社団法人 日本アマチュア無線連盟香川クラブ

忘

年

会

年の暮です。歳末です。JA R L 香川クラブ恒例の忘年会を下記のとおり行ないますので多数ご出席ください。

なお、準備の都合もありますので、ご出席いただける局は付記の局長まで12月25日までにご連絡をお願いします。

記

日 時	12月30日	18時30分から
場 所	飲 本 店	(瓦町1丁目 TEL 34-5310)
会 費	約 5,000円程度	
付 記	幹 事	JH5DJT 木下 TEL [REDACTED]
	会 計	JA5TFJ 横田 TEL [REDACTED]

JA5YDE 公開運用

高松市趣味文化祭が、去る11月7日高松市民文化センターで盛大に開催されました。

盆栽・化石・人形あるいは珍鳥など、コレクションの展示や講堂での8ミリ映画の上映、奇術の実演を見学する多勢の観客が来場しました。

わが香川クラブも、アマチュア無線を一般市民にPRするため、JA5YDEの公開運用を行いました。今回は一般見学者から、「アマチュア無線をはじめたが、どのようにすればよいか。」という具体的な質問が多かったこと、開局して間もない局長さんからは、「クラブや同好会はたくさんあるが、技術的な指導など一歩ふみ込んだ指導をしてもらえるクラブがほしい。」などの希望もあり、今後のクラブ運営で参考になる点もありました。

当日はあいにくの雨にもかかわらず、準備・設営・運用・撤去など、協力いただいた各局に厚くお礼申し上げます。また、次回の開催のために積極的なご意見をお待ちしております。

(会長)

フィールドミーティング

「晩秋の金砂湖・富郷溪谷へドライブ」

今年は春のフィールド「祖谷溪」行きが、雨で中止になっただけに、今回は、前日から天候が心配されたが、11月14日(日)当日は朝から快晴に恵まれ、計画の定刻9時30分過ぎには、畑田のショッピングセンター“せと”に、すでにJA5KWF局の車を始め、香川クラブの行事初参加とJH5PQXさんが黒のセダンにチャイルド3人で待っている。続いてJA5IQP、JA5UY、JA5IRPの各局がカブルで参集され、JA5AHM、JA5TFJの車が加わり合計7台で集合場所“せと”を順次出発する。

空からJA5AG、JA5CM、JA5KZK、JH5DJT各局の見送りを受けて、モーター一団は一路32号線を南下、途中でJA5CSS、JA5CVH各局とセカンドさん達を車に迎え、琴平から377号線に進む。

「香川クラブ各局モーター、次の信号で右折よろしく、こちらJA5TFJ-1号車、2号車JH5PQX局どうぞ!」、「前から大型対向車あり注意されたし/次5号車どうぞ!」……とQSOを楽しみながら田園地帯を快調に走行。川之江市で11号線に出て三島市内に入る。スーパーフジを過ぎ前方に「金砂湖」の標識を見て左折し登り道をしばらく進む。間もなく翠羽峠すその展望台に全車到着。小休憩の後、眼下に工事中国四横断道を見ながらぐんぐん登る。道が左に右にカーブし、やがて法皇トンネルに入る。

「こちらJA5DZM-5号車、今、子供達がトンネルの長さを計測中です。どうぞ!」トンネルを出ると雪……ではないが、目の前に金砂湖が開けてくる。平野橋を渡って、左一奥之院、右一富郷の三叉路を右に、金砂湖南岸を銅山川上流に向って車を進める。途中湖岸では三々五々家族づれが遊んでいる。猿田への交叉点で再度橋を渡り、駐在所前を通過して富郷溪谷に入る。川巾が段々と狭くなり川岸の奇岩と紅葉の景観が一段と美しくなってくる。道路の片側に自動車の駐車が目立って多くなる。青少年キャンプ場だ。

川原では飯ごう炊さんの煙が立ち大勢の人が遊んでいる。「各局この少し上で駐車して下さい」とIRP局の声、車を止めて一同川原に下る。12時前の現着だ。何となく急に腹がへってきた。この時、途中からコールのあったJA5PZL局の車と単車で参加のJH5MGA局が追いつき到着、仲間に加わる。早速それぞれ岩に腰をおろして弁当を開く。青い空と紅葉が一際あざやかなコントラストを作り、音を立てて流れる川向うでは少年が“あめご”釣りの竿をあげる。新鮮なオゾンが一杯、弁当が一段とうまい。皆楽しそうに語りながら……。誰かが平らな石を探して川面に投げる。一・二・三と水面を滑って水中に沈む。岩の上のトランシーバーからCQコールが聞える。

久々に仕事を離れ、のんびりした一時を過す。一遊びの後一同で写真を撮る。“ハイポーズ”セルフタイマーがおちたと姿勢をくずすと“カチッ”とシャッター音、一同ワツと大笑い。山の秋は、はや木影が長く伸びてくる。全員溪谷をあとに出発する。帰路は同じ道を三島まで帰り、市内で名物丸亀屋の“ひうちせんべい”を買う。(三島のローカル局の道案内を受け…やはりハム仲間ならでは…と感謝しながら)お土産も買ったし、一路高松向けだ。

川之江から192号線に入り、池田経由、32号線で猪鼻峠を越える。一方KWF局は松山向け、PZL局・TFJ局は11号線で一足お先きに、と空で別れのあいさつを交わし、家路に向う。途中いっぶくして18時頃各局無事帰着し、楽しい秋のフィールドミーティングのスケジュールを終了した。

終始「安全運転」を合言葉に走ったが、特に初参加のJH5PQXさん、セカンドさんをサイドにハンドルを持ち、FBなQSOと各局の賞讃しきり。また遠路松山から参加のKWF局に感謝すると共に、今後共先輩・新入各局の積極的な参加を期待いたします。次回は忘年会で逢いましょう/73 & 88

(BY JA5TFJ)

(参加局) JA5AHM・JA5PZL・JA5OSS・JA5CVH・JA5KWF-X
YL・JA5UY-JA5DZM・JA5IQP-JA5OIB・JA5IRP-JA5OI
A・JA5TFJ-JH5DCW・JH5MGA・JH5PQXの皆さんとセカンドさん
合計22人(うち局長15人)

全走行キロ 約400km・モーター8台 単車1台

「ハイパワー市民ラジオ撲滅旬間」について

四国電波監理局

昭和57年12月1日から10日間実施する「ハイパワー市民ラジオ撲滅旬間」の趣旨は次のとおりです。最近の目覚ましい技術の進歩は、私たちの生活様式さえ変えるほどになっています。情報化社会といわれる今日、通信分野での技術開発と自動車等交通手段の発達、普及があいまって移動体との通信が、単に便利なものから必要なものへと変わり移動通信への電波の利用は質量ともに増加の一途をたどっています。これと並行して、主に個人的用務への無線通信の利用も飛躍的に増大し、近々新たな周波数の電波によるパーソナル無線が実用化されるまでになっています。これらの通信は、そのほとんどが免許を受けた無線局によって正しく使われており、社会生活に役立てられています。

一方、免許を受けずに無線通信を行う者もあり、その大部分を占めるハイパワー市民ラジオは、これから発射される不法電波が法秩序を乱すばかりでなく、テレビやFM放送の受信に障害を与えたり、沿岸漁業用の緊急波に混信妨害を与えるなど社会的に大きな問題となっています。ハイパワー市民ラジオは、現在認められている市民ラジオ（出力は最大0.5W）とは異なり、高出力・多チャンネルの機器であり、これを使用することが即現行の電波利用の秩序を乱し、他の合法無線局の通信に重大な支障を引き起こすもので、申請をしても免許を受けることができません。この無線機は、トラックやダンプカー等に取り付けて使用される例が多く、これが通過する道路沿いの家庭に電波障害を起こすなど、いわば電波界の無法者です。

当局では、昭和52年以来ハイパワー市民ラジオを含む不法無線局をなくすため、関係機関等の協力を得て、取締りを強化するとともに違反防止のための周知広報活動を行ってきた結果、ハイパワー市民ラジオは減少傾向がみえはじめておりますが、依然として後を絶たない現状にあります。そこで、無線局の無免許開設者（免許を受けずに電波を発射できる状態にした者）への罰則が適用される来年1月1日を前に、当局では12月1日から12月10日までの「ハイパワー市民ラジオ撲滅旬間」としこれらの不法無線局の絶滅を図るため、ハイパワー市民ラジオの販売店及びこれを設置している車両の出入りする事業所をはじめ、広く世間一般に対し強力な広報活動を実施することといたしました。

不法無線局が一日も早く一掃できますよう、関係の皆様のご理解と御協力をお願いする次第です。
(四国郵政局報より)

編 集 子 か ら

今年もまた12月号をお届けする時期がやって参りました。各局にはいかがこの年をお過ごしでしたでしょうか。……………

来年こそは良き年でありますように心からお祈りしてお別れします。

どちらさまも どうぞ よいお年を お迎えください さようなら

社団法人 日本アマチュア無線連盟

香川クラブ報

発行責任者 JA5AHM 天野 英弘

編集者 JA5IQP 合田口正春

" JA5PZL 高畑 康男

連絡事務所 高松市中新町

(〒760) 天野 英弘 方

(TEL) 高松

郵便振替口座 徳島8758 JARL香川クラブ